

廣川晴軒 ひろかわ はるけん 洋學者。享和二年五月、千石越後國小千谷生れ、明
治十七年一月十四日歿（一八一四）。講書、通稱徳二郎、龜七。別號
九重樓主人。佐藤雪山の和算を、算作阮甫の蘭學を學ぶ。幕末、二三元
素略説』を著はし、エネルギー恒存則きを論述し、及鐵書無く、歿後狩野亨
吉、二三上義大に發掘評價せられた。また維新後太陽曆採用等を建言。



井上慶隆著『廣川晴軒伝』（昭和五十六年五月、二千石恒文社）刊。